

し
知つとんなる?

しょう がい しゃ さ べつ かい しょう ほう

障害者差別解消法

えがお かがや
笑顔輝くふれあいのまち よさのちょう
与謝野町をめざして



障害のある人もない人も 暮らしやすいまち 与謝野町を目指します!

障害者差別解消法ってどんな法律?

この法律は「障害を理由とする差別」をなくし、障害のある人もない人も暮らしやすいまちをつくるためのきまりで、平成28年4月につくられました。

国や地方公共団体などの行政機関や、会社やお店などの民間事業者は障害のある人への「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」を求められています。

「不当な差別的取扱いの禁止」って何?

正当な理由がないのに
「障害がある」という理由だけで、
サービスの提供を拒否したり、
制限することを禁止しています。



レストランなどの飲食店に入ろうとしたら、
車いすを利用していることを理由に断られた。

「合理的配慮」って何?

障害のある人が障害のない人と
同じように暮らせるよう、
負担になりすぎない範囲で
障害の状況に応じて
バリア(障壁)を取り除くことです。



耳が聞こえにくい人などに、施設の受け付けなどで、筆談や
手話などの方法でも会話ができるような準備や工夫をする。

困っている人を見かけたら、
「何かお困りですか？」と一声かけましょう。



自分のできる範囲でサポートしましょう。
自分だけでは無理なら、周りの人に助けて
もらいましょう。



心がけよう！／コミュニケーションの4つのポイント



介助者がいても介助者だけでなく本人に
話しかけましょう。



分かりやすい方法でゆっくり伝えましょう。

いろんな人が暮らしています

わたしたちの周りには、目が見えにくい、耳
が聞こえにくい、車いすを使っている、体の
中の働きがうまくいかない、気持ちや考えを
うまく伝えられない、見た目では分からない
障害のため家族や職場の人たちから理解され
にくいなど、障害といってもいろいろな種類や
特徴があり、一人ひとり違います。



周りの人の協力や理解があれば、多くのことができます。
困っている人を見かけたら、まずは声をかけて、手助け
できることがないか聞いてみましょう。

じっさい ばめん かんが
実際の場面で考えてみよう！

困っている人を見かけたときに

わたしたちにできること

買い物などに行ったとき

スーパーなどで

車いすの人が棚の高いところにある商品を取ったり、床に落ちた物を拾ったりするときは、代わりに取って手渡しましょう。



支払う金額などを言葉でゆっくりと伝える、紙などに書く、絵カードを活用するなど、分かりやすく伝えるようにしましょう。



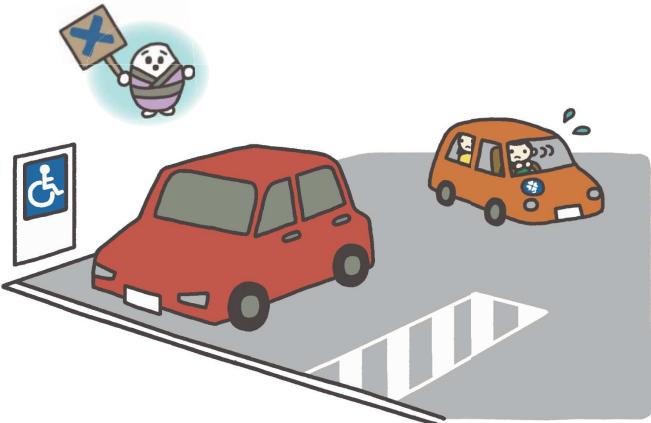
多目的トイレは

人工ぼうこうや人工こう門を使用している人（オストメイト）、車いすの人、赤ちゃん連れの人などのために、広いスペースや必要な設備が整えられたトイレです。必要のない人は利用をひかえましょう。

車いすマーク駐車場は

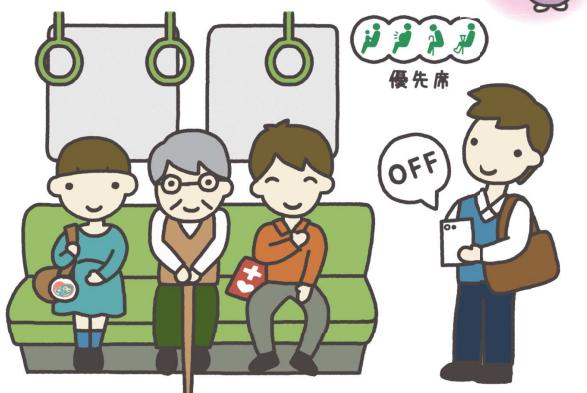
車いすの人や杖などを使っている人が車の乗り降りしやすいように、広めにつくられた駐車スペースです。

その駐車場を必要としている人のことを考えましょう。



バスや電車などを利用するとき

優先席では



め　ふじゆう　ひと　からだ　ふじゆう　ひと　ないぞう　はたら
目の不自由な人、体が不自由な人、内臓の働きに
しようかい　ひと　た　ひと　ひと
障害がある人など、立っているのがつらそうな人
ざせき
には、座席をゆずりましょう。
しんぞう　きかい　ひと
心臓ペースメーカーの機械をつけた人がいるかも
ゆうせんせきふきん　けいたいでんわ
しないので、優先席付近では、携帯電話などの
でんげん　き　ひと
電源は切りましょう。
くるま　しよう　ひと　じょうしゃ
また、車いすを使用している人が乗車してきたら、
くるま　りょう　ひと
車いすスペースを利用できるようにしましょう。

点字ブロックは

め　ふじゆう　ひと　ひとり　ある　ほど
自分が不自由な人が一人で歩けるように、歩道
えき　せっち
や駅のホームなどに設置してあります。
つうこう　通行しやすいように、点字ブロックの上に
じてんしゃ　うえ
自転車を止めたり、立ち止まったりしないように
と　た　ひと
しましょう。



駅などで

まわ　ようす　わ　こま　ひと　きけん
周りの様子が分からなくて困っている人や危険な
じょうきょう　み　ひと　ひと
状況を見かけたときには、声をかけて、安全に
もくできち　い　あんぜん
目的地に行けるように協力しましょう。



くるま　ひと　の　お　いどう
車いすの人が乗り降りするときは、移動しやすい
とびら　あ　くるま　お　だんさ
ように、扉を開ける、車いすを押す、段差にスロープ
ようい　てだす
を用意するなどの手助けをしましょう。

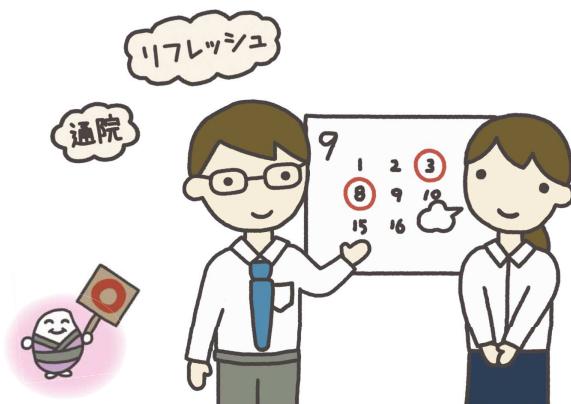
こま
困っている人を
み見かけたときに

わたしたちにできること

職場では

職場での理解を深める工夫

障害のある人を職場にむかえるときは、本人のプライバシーを守りながら、ほかの社員に障害の特徴や必要な心づかいなどを説明して理解を深めましょう。



本人にあった職場の環境づくり

通院で休む日や仕事をする時間・内容など本人と相談して決めましょう。安心して働ける職場になるように、できる範囲で社内の協力を得て、本人のペースに合わせて、仕事内容などを調整しましょう。

相談しやすい雰囲気づくり

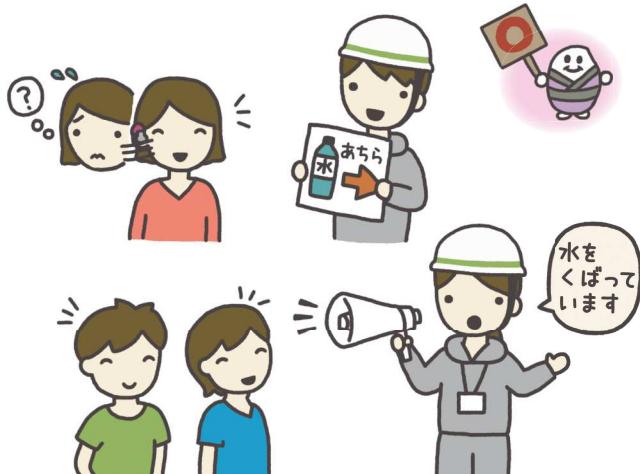
体調が悪くても、自分から伝えられない人もいます。仕事がうまくできっていても、実はかなり無理をしているのかもしれません。上司をはじめ周囲の人にはいつもあたたかく見守ってもらうことで、体調が安定して仕事が続けられる人がたくさんいます。困った時に、相談しやすい職場の雰囲気をつくりましょう。



災害時や緊急時などは

となり近所の助け合い

災害時や緊急時など周りが混乱している中、障害のある人が一人で行動するのはとても危険です。あなたの近所に助けを必要としている人がいる場合は、できるだけ地域の人たちで協力しながら自分たちができるることを一人ひとり考え助けあって、みんなで危機を乗り越えましょう。

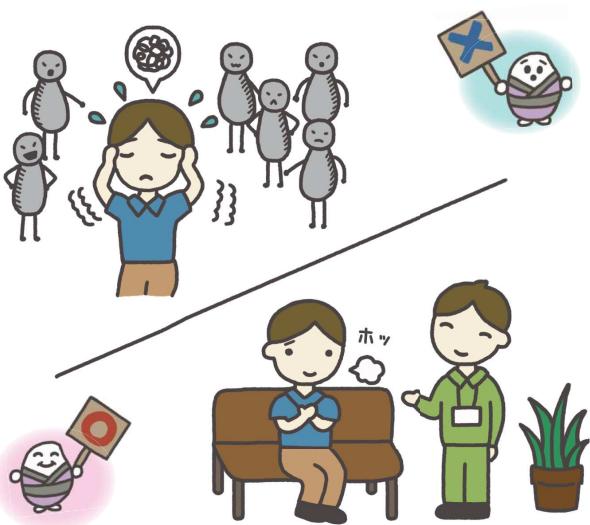


音声だけでなく文字も一緒に

避難所などで情報を音声で伝えられても、耳が不自由な人には正しい内容が伝わりにくいです。掲示版を目につきやすい場所に置く、筆談で情報を伝えるなどしましょう。また、館内放送を文字化する、手書きのボードを用いるなど分かりやすく伝えましょう。

リラックスできる環境づくり

思いがけない出来事にパニックや精神的に不安定になる人もいます。リラックスできるよう、できる範囲で人が少ない静かなスペースや休憩室などを用意しましょう。



しせつ まちや施設などで見かけるいろんなマーク

<p>しょうがいしゃ 障害者のための国際シンボルマーク</p>  <p>しょうがい、ひと、りょう、たてもの 障害のある人が利用できる建物 や施設であることを分かりやすく あらわした世界共通のシンボル マークです。</p>	<p>みみ 耳マーク</p>  <p>ちょうかくしょうかい、しめ 聴覚障害のあることを示すための マークで、聴覚障害のある人が カードなどを身につけています。</p>
<p>しんたいしようがいしゃひょうしき 身体障害者標識</p>  <p>したい、ふじゅう、うんてんめんきょ 肢体不自由のため運転免許に 条件がある人の車に表示する マークです。</p>	<p>けん ほじょ犬マーク</p>  <p>しんたいしようがいしゃほじょけん、もうどうけん 身体障害者補助犬（盲導犬、 聴導犬、介助犬）がいっしょに はいることができる施設やお店を 示すマークです。</p>
<p>ちょうかくしょうがいしゃひょうしき 聴覚障害者標識</p>  <p>ちょうかくしょうかい、うんてんめんきょ 聴覚障害のため運転免許に 条件がある人の車に表示する マークです。</p>	<p>じんこう オストメイトマーク</p>  <p>じんこう、もん、しょう 人工ぼうこう・人工こう門を使用 している人（オストメイト）のための 設備があるトイレに表示される マークです。</p>
<p>もうじん 盲人のための国際シンボルマーク</p>  <p>しかくしようがい、ひと、あんぜん、かんが 視覚障害のある人の安全を考えた たてもの、せつび、建物や設備につけられている 世界共通のマークです。</p>	<p>がいけん ハート・プラスマーク</p>  <p>わ 外見では分かりにくく、さまざま 誤解なども受けやすい内部障害 のひとのある人をあらわすマークです。</p>
<p>こくさい マタニティマーク</p>  <p>にんさんぶ 妊産婦さんへの気遣いをお願い するマークです。</p>	<p>きょうとふ 京都府おもいやり駐車場</p>  <p>にん、にんさんぶ、いちじてき、ほこう けが人や妊産婦で一時的に歩行 こんなん、かた、くるま が困難な方などが、車いすマーク ちゅうしゃじょう、りょう、せいど の駐車場を利用する制度です。</p>
<p>かいげん ヘルプマーク</p>  <p>がいげん 外見からは分からなくても援助 ひつよう、ひと が必要な人のためのマークです。</p>	<p>きょうとふ 京都府福祉のまちづくり</p>  <p>ふみんそうさんか、すす 府民総参加で進める福祉のまち づくりのシンボルマークです。</p>



よさのちょうやくば　ふくしか
与謝野町役場福祉課 障害者福祉係
電話: 0772-43-9021 FAX: 0772-42-0528
Eメール: fukushi@town.yosano.lg.jp
京都府与謝郡与謝野町字加悦433番地

発行者 与謝野町役場福祉課
編集 与謝野町地域自立支援協議会
デザイン協力: 梅山嘉乃
発行 平成30年3月